

南アフリカ – 政策金利を引き上げ –

<0.5%の利上げを実施>

1月28日（現時時間）の金融政策委員会で、南アフリカ準備銀行（以下、SARB）は政策金利を6.25%から6.75%に0.50%引き上げることを見事決定しました。急激な通貨安と食品価格上昇によるインフレ圧力の高まりを理由に、昨年11月に続き利上げを見事決定しました。

今回も市場は利上げの可能性は高いとみていたことから、今回の決定については概ねサプライズはありませんでした。

<引き締め的なスタンスが続く見込み>

SARBは2016年のGDP成長率の見通しを1.5%から0.9%へ引き下げるとともに、インフレ率の見通しを、2016年は6.0%から6.8%へ、2017年は同5.8%から7.0%へ修正しました。

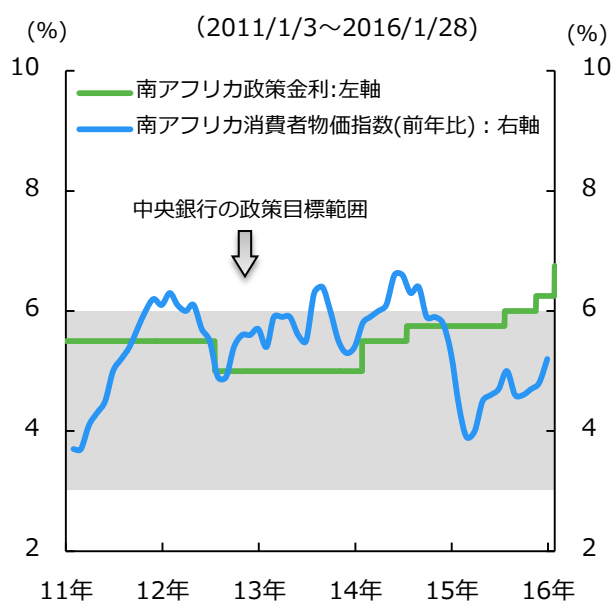
国内景気の減速に対し懸念を示しつつも、高インフレが続く見通しから、声明文には「委員会は、経済が直面する成長制約は構造的な性格のものであって、金融政策のみで解決することはできないと見ている」との文言が追加されており、引き続き金融引き締め的なスタンスが継続されると見られます。

<ランドは当面不安定な動きが続く見込み>

南アフリカランド（以下ランド）は、昨年12月、財政再建に取り組んできたネネ財務相が解任された後、急落しました。2016年に入ってから中国経済の減速懸念再燃や資源価格の下落が進んだことから、1月11日には1米ドル17.917ランドの最安値を付けました。その後は1米ドル16ランド台の推移が続いています。

南アフリカ経済は資源輸出への依存度が高く中国経済や資源価格の影響を受けやすいこと、信用格付けの引き下げリスクなどもあり、ランドについては当面不安定な動きが続くと見られます。

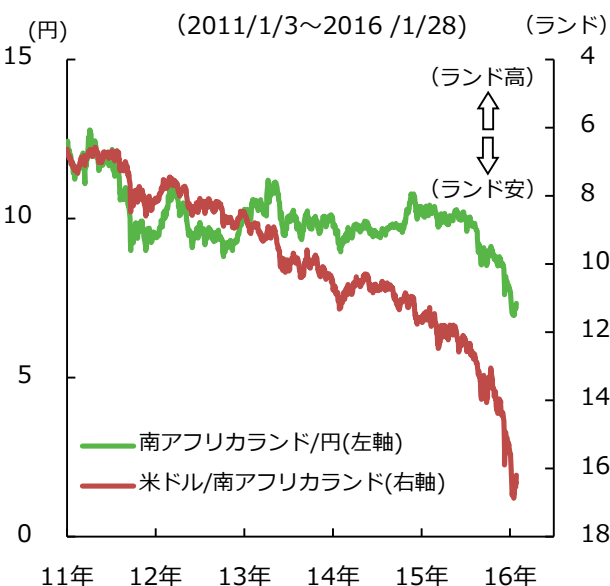
<政策金利とインフレ率の推移>



※政策金利は発表日ベース

※消費者物価指数は2011年1月~2015年12月

<南アフリカランドの推移>



出所：Bloomberg

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会